

平成25年度北海道小学校長会地区活性化支援事業【研修レポート】

- 1 実施地区：空知地区
- 2 研修者氏名（学校名）：畑島俊治（南幌町立南幌小学校）
- 3 研修実施日：平成25年8月3日（土）
- 4 研修先：岐阜女子大学（岐阜県岐阜市太郎丸80）
- 5 研修目的：社会が求める学校教育と教育の在り方を考える
- 6 キーワード：生きる力、伝える力、共感的理解

1 はじめに

校長の任に就かせていただき4年目。赴任した町では、小学校の統合と新設校を軌道に乗せる取組等、直近の課題が待っていました。

児童や保護者、そして地域が学校に寄せる期待に少しでも応えようと慌ただしく走り続け、振り返ってみると、ややゆとりに欠ける日々だったように思います。その意味において今回、北海道小学校長会からいただいた研修の機会は、学校経営の視野を広げるとともに、自身をリフレッシュする良い経験となりました。



開校2年目を迎えた本校

2 初めての地、岐阜！

選んだ研修は、「第11回 21世紀の教育を考える会」という、講座を軸とした研修会です。5日間にわたり行われたこの会は、今日的な教育課題に視点を当てたものであり、私自身の経営課題とも軌を一にするものでした。また、講師陣には著名な方々が名を連ねており、『是非、直接お会いしてみたい』という気持ちに駆られました。ただ、自分のスケジュールと重ね合わせると、どうやら行けそうなのは、初日の講話だけ…それでもお話をお聞きしたく決心を固めた次第です。あわせて、岐阜県を訪れた経験のないことが、旅心をくすぐったのも事実です。

3 経営策にヒントを与えてくれる講話！

(1) 講師は早川信夫氏でした

言わずと知れたNHKの解説員です。今は解説主幹の要職に就かれています。「時論公論」で、その視点や分かりやすい解説には好感を持っていました。今年2月頃だったでしょうか、「教育再生会議」における「いじめ対策」についての明快な論旨は大変参考になりました。

また、「週刊こどもニュース」の制作にも深く関わっておられたとのこと。さらに関心が高まりました。



早川氏の講演の様子

(2) 早川氏の講話を通して学んだこと！

①子どもにとって大切な「学び」とは？

自校の学校経営の根幹には、「すべて子どものために」を据えています。全児童に「生きる力」を育むため、学校全体での意識化を図っています。講話の中で、『教育とは人が人を育て、その人がまた人を育てる営みである』と教わりました。私たちは、子どもを場面場面で評価するため、一瞬の一コマを切り取り、成績の善し悪しを判断しなければなりません。ただ、『自分らしく生きていく術を子ども

も自身が泣き笑いの中で培っていくことこそが「学び」なのだ』と、念頭に置いて指導することがプロ教師の本懐であるべきだと再認識しました。

②「分かったふり」と「分からない」…どちら？



会場の岐阜女子大学

『子どもが分かった顔をして、分からないまま授業が進んでいることはないか』の問い掛けには反省しきりです。往々にしてありがちだからです。大人の尺度での思いこみや『分かっているだろう』は禁物ですね。『分かりません』と子どもが安心して言える環境づくりを我々大人は責任をもって進めていかなければなりません。『なるほど、そうだったのか』という経験が次につながり、変容につながるということを忘れないようにします。また、『ちょっと難しかったけど分かった』と自分から学び取る姿勢への起点としたいと思いました。さらに『分かりやすく指導することは、レベルを下げて指導することと決してイコールではない』という教授を大切にします。

③「一を聞いて十を知る」でいいのだろうか？

早川氏は、「上手に伝える術」について聞かれた時には、『自分が伝えたいことが何なのかというテーマをもつこと』と答えるそうです。それはアナウンサーがニュースを限られた時間で分かりやすく伝える苦勞と重なりました。『分かったつもりになって言わないこと』が一番大切！そしてその実践には、「十を聞いて一を知る」くらいの慎重さや謙虚な姿勢が求められるとのこと。管理職にも非常に通じる部分が多く、今後の戒めにしたいと思います。ちなみに、講師が心掛けている「伝わりやすくなる3要件」とは、「思いはシンプル、事実は正確、知って得した君の教え」とのこと。勉強になりました。

④教師が子どもと向き合う！一丸となる！

深刻な「いじめ問題」について、自殺との因果関係が第三者委員会によって明らかにされた全国的な例を取り上げ、『教師同士の情報がなぜ、共有されなかったのか』と問い掛けられました。また、「死角の多い校舎の構造」や「担任がいじめに気づきづらくなってきている現状」等について懸念を示されました。学校を預かるものとして、「抱え込ませないこと、組織で動くこと、未然防止の術、家庭・地域との緊密な連携」等々、今後もアンテナを高くして取り組みたいと決意を固くした次第です。真摯に向き合う良い機会となりました。

⑤他にも…

「北海道での炭鉱火災での報道体験」や「書く力を伸ばす秘訣」、「相手の思考を封じる話術」、「グローバル化への対応」等、書ききれないほど多くの示唆を与えていただき、『教育とは「夢とロマン」です』と講話を閉じられました。そこに時間を忘れて聞き入っていた自分がいたことを幸せに思います。

4 おわりに

今回の講座は「教員免許状更新」の対象でもあったため、大きな会場が満席になるほどの盛況でした。運営者の対応（多分、会場校の学生さん？）も丁寧であり、クーラーも効いていて、素晴らしい環境の中で気持ちよく参加できました。また、長良川や名古屋城等の見学も行程に入れることができ見聞を広めました。薨の波、竹林、里芋畑…勤務地では見られない何気ない風景さえも私にエネルギーを与えてくれました。得難い機会を与えてくださったことに心より感謝申し上げ報告といたします。